

行政報告

令和7年9月1日

伊豆市長 菊地 豊

令和7年伊豆市議会9月定例会の冒頭にあたり、行政報告を申し上げます。

1 カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報の対応について

7月30日にロシアのカムチャツカ半島付近を震源とする地震が発生し、市内沿岸部に最大3メートルの津波の到達を予想する津波警報が発表されました。

市では、土肥の屋形地区に避難指示を発令し、土肥小中一貫校など4箇所を避難所として開設したほか、津波避難ビルを開放し、観光客など最大240人が避難しました。

津波による直接的な被害はありませんでしたが、夏の観光シーズンにおける避難について、観光客への周知や帰宅困難者への対応などが課題となりました。

今回の対応を改めて検証し、課題解決に努めるとともに、災害死者ゼロを目指し、引き続き津波対策に取り組んでまいります。

2 東京2025デフリンピック開催に向けて

東京2025デフリンピック開催まで100日前となる先月初めから、本市で開催される自転車競技の大会機運を盛り上げるため、修善寺駅及び市役所各庁舎に大会横断幕を掲出しました。また、開催50日前となる10月には、修善寺駅周辺に大会のぼり旗の設置と本市出身のデフバレーボール元日本代表選手を招いた記念イベントの開催を予定しています。

大会期間中は、修善寺駅観光案内所に会話をリアルタイムに多言語表示する「字幕表示システム」を設置するほか、静岡県との連携により、市内小中学校・小中一貫校の児童生徒の大会観戦を実施することとしており、デフスポーツや障害のある方への理解を深め、共生社会の実現に努めてまいります。

3 修善寺地区の小学校再編について

修善寺地区4小学校の再編については、本年3月に保護者の皆様に今後の在り方に関するアンケートを実施し、再編に関する意向のほか、再編に期待すること、不安に感じることなど様々なご意見を伺うことができました。

今後は、このアンケート結果を踏まえ、各小学校を訪問し、保護者の皆様のご意見をお伺いした後、地域への説明会を行うこととしております。その上で、今年度中に再編の方向性について整理し、来年度には教育振興審議会を設置する予定です。

再編に伴う子どもや保護者の負担を考慮しながら、より良い教育環境を整えられるよう、修善寺地区の小学校の在り方について、検討してまいります。

4 子育て支援施策について

昨年度策定したこども計画に基づき、現在、保育施設の老朽化に伴う施設改修や防犯対策を進めており、土肥こども園の遊具入替に伴う新たな複合遊具は、今月下旬に供用を開始する予定です。

また、本年3月にリニューアルした狩野川記念公園の遊具広場では、インクルーシブ遊具を設置するなど、誰もが楽しめる場所として多くの方にご利用いただいているほか、クリーンセンターいず管理棟の1階では、キッズスペースを開放し、雨の日でも子どもが自由に遊ぶ場所を設けるなど、多岐にわたり子育て環境の充実に努めています。

引き続き、子どもが健やかに成長できるまちづくりに取り組んでまいります。

5 公共施設使用料及び上下水道料金の見直しについて

公共施設の使用料等は、合併以来、消費税改定時を除き見直しを行ってまいりませんでした。昨今の物価や人件費の高騰に伴う社会環境への対応や利用者負担の公平性を確保するため、全ての公共施設の使用料等を見直すこととしました。

現在、使用料等審議会で使用料等の算定の考え方についてご審議いただいております。来年度には各施設の使用料等に係る条例改正を議会にお諮りする予定です。

また、上下水道料金の見直しについては、上・下水道それぞれの審議会を一つの審議会に統合するため、今議会に条例の制定について議案を上程しております。新たに設置する審議会では、上下水道の将来にわたる安定的な供給に向けた適正な料金についてご審議賜り、今年度末を目途に答申をいただきたいと考えております。